

特別会計

特別会計の決算は、歳入総額28億1004万円、歳出総額27億8216万円になりました。
歳入歳出の差引額は2788万円です。

特別会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	10億5,350万円	10億5,277万円	73万円
簡易水道及び飲用水道供給事業	4,318万円	4,101万円	217万円
公共下水道事業	5億7,640万円	5億7,113万円	527万円
介護保険	10億563万円	9億8,602万円	1,961万円
後期高齢者医療	1億3,133万円	1億3,123万円	10万円
合計	28億1,004万円	27億8,216万円	2,788万円

水道事業会計

水道事業会計決算は、2つに分かれています。「収益的収入および支出」は、水道事業の経営活動に関する収支です。「資本的収入および支出」は、水道施設の整備や拡充のための収支で、歳入総額2779万円、歳出総額1億1347万円になりました。不足する8568万円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

水道事業会計区分	歳入	歳出	差引額
収益的収入および支出	2億2,551万円	2億331万円	2,220万円
資本的収入および支出	2,779万円	1億1,347万円	△8,568万円

基金(貯金)と町債(借金)

平成30年度末の基金は、44億9168万円です。平成29年度から9億6633万円の増額となりました。町民一人当たりでは57万円になります。

町債は110億679万円です。平成29年度から4億1593万円の増額となりました。町民一人当たりでは141万円になります。

※基金と町債には特別会計、水道事業会計は含んでいません。

※町民一人当たりの金額は、平成31年3月31日現在の人口7821人から算出しています。

決算のまとめ

町の財政状況は現在のところ健全といえます。しかし、先の見えない景気の動向や人口の減少による税収の減など、今後の財政運営は楽観できません。

限られた財源で最大の行政効果が得られるよう、効率的な財政運営に努めていきますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。決算など財政に関する問い合わせは、企画財政課財政係 ☎212171 (内線320) まで。

30年度の主な事業



社会福祉センターや白糠斎場、ふれあい児童館など、施設の改修を行いました。



生き生きしらぬかふれあい交流事業、健康入浴事業などを行い、高齢者福祉の増進を図りました。



太陽の手子育て支援事業として、18歳までの医療費無料化や保育料・学校給食費の無料化などを行いました。